

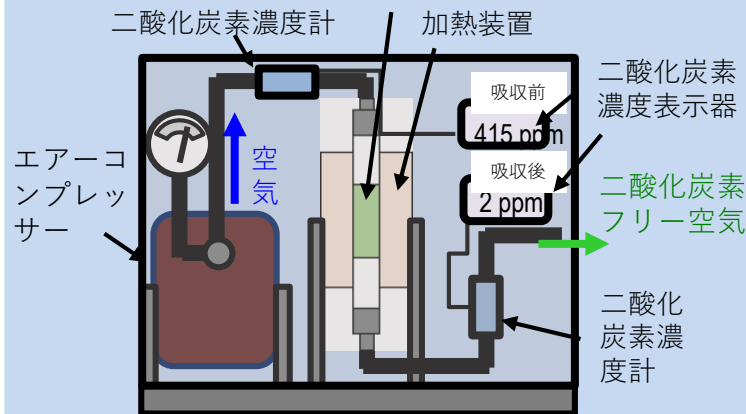
No.8

大気中の二酸化炭素を回収・変換・供給するカーボンステーションの開発

3.9 億円程度
(事業期間3年間)

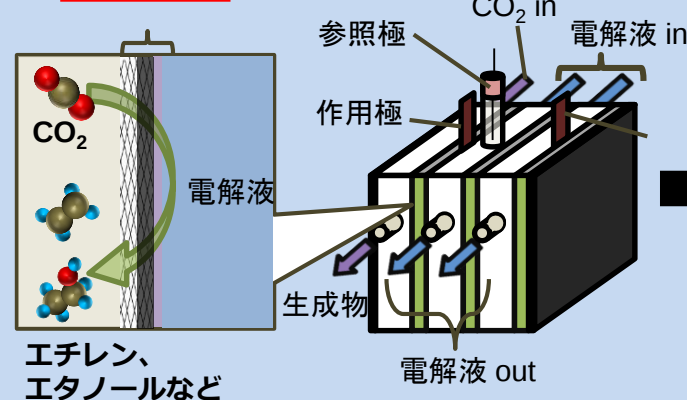
大気中の二酸化炭素から有用な炭素資源を合成・供給できる“カーボンステーション”を開発する。都内でのエネルギー消費由来の二酸化炭素排出量を削減しつつ、大気中の二酸化炭素を新資源とする未来型都市社会を構築する。

固体吸収材

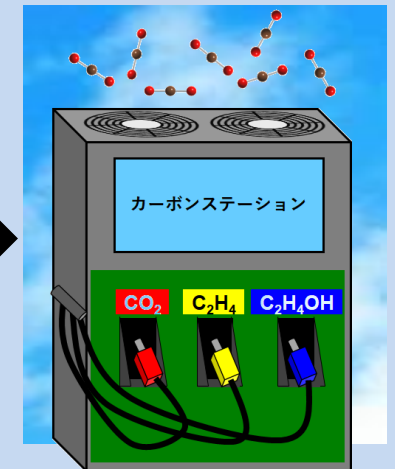


Direct Air Capture システム

電解触媒



二酸化炭素電解システム



カーボンステーション

○ 大気中の二酸化炭素から炭素資源を合成・供給する“カーボンステーション”の開発

- ・ 大気中の二酸化炭素を効率良く吸着・回収するDirect Air Captureシステムと回収した二酸化炭素を炭素資源に変換する電解システムを組み合わせた“カーボンステーション”を開発し、二酸化炭素排出量の削減と炭素資源供給を同時に実現する。

○ “カーボンステーション”利用による新社会基盤の創出

- ・ カーボンステーションの導入により、二酸化炭素を中心としたHTT（減らす、創る、蓄める）が可能になるだけでなく、大気から合成した炭素資源の有効利用法の創出による持続可能な都市社会のモデルを世界に先駆けて構築する。

事業実施による効果

- ・ 東京都の二酸化炭素排出量を削減しつつ、大気から合成した新しい炭素資源を有効利用することでHTTを実現し、東京都独自の持続可能な都市社会のモデルを構築する。